

東亜グラウト工業(株) 浦安技術センターの紹介

南洞 誠

NANDO Makoto

東亜グラウト工業(株)
執行役員
管路グループ企画部長



1. 東亜グラウト工業(株)の紹介

東亜グラウト工業(株)は1958年（昭和33）に設立されました。創立当初は、独自のグラウト工法で「地盤改良分野」を中心に国土建設の一翼を担いました。その後、社会資本整備の変遷に呼応する形で、時代のニーズに適応する技術を磨き上げ、時には海外も含めた技術を獲得することで業容拡大を図り、現在では「地盤改良」「斜面防災」「管路メンテナンス」の3つの柱を築くに至りました。

「安心・安全な国民生活の実現」に向け、これから我々が直面する課題は大きく2つあると当社は考えております。一つは平成25年に施行された国土強靱化基本法に示される防災・減災の街づくり、一つは高度経済成長期に集中整備されたインフラの老朽化対策です。特にインフラメンテナンスは限られた予算の中で、どう効率のかつ効果的に行っていくかが重要です。当社はこれらの課題に対し、新技術、新工法での貢献を目指しております。

2. 浦安技術センターの設立目的について

当社は2011年（平成23）に浦安技術センター（千葉県浦安市）を開設しました。その開設目的、役割は、主に次の5点となります。①工事事務所としての役割②管路メンテナンス事業に関わる研究開発の中心的な拠点としての役割③工事に関する技術技能向上を目指したトレーニング施設としての役割④工事機材のメンテナンス基地としての役割⑤工事資材の倉庫としての

役割です。

設立後の浦安技術センターは、当社の工事事業の生産性向上に大いに貢献しました。しかしながら、他社から買い受けたままの状態で使用していた既存の建物や設備は古く、特に事務所棟については建築物の建て替えが急務とされていました。そこで老朽化が進む事務所の単なる建て替えといったハード面だけではなく、人材育成や安全管理などソフト面の見直しも含んだ総合的なリニューアルがプランニングされました。

3. リニューアルされた 浦安技術センターの概要

2018年（平成30）に当社は創業60周年を迎えました。その記念事業の一環として、当社は浦安技術センターに「本館」を新設しました。本館のリニューアルに当たっては、「明るい」「シンプルでインパクトのある」「清潔感」という3つのキーワードをコンセプトに設計。完成した本館は、2階建て、建築面積390m²、延べ床



写真－1 浦安技術センター本館全景

面積788m²。概ねコンセプト通りの施設となり、社員が働きやすく、お客様を快適にお迎えできる環境を整備いたしました（写真－1、2）。



写真－2 本館1階展示スペース

本館1階には安全講習や技能講習など、社員教育を行うセミナールームを設置し、最大90名まで収容できる広いスペースを用意しました。セミナールームにはWEB会議システムを併用し、四谷本社の会議室や当社の全国の拠点と同時講習を開催することも可能になりました（写真－3）。



写真－3 本館1階セミナールーム

本館2階事務所スペースには広々とした業務環境を整備し、フリーアドレスの執務スペースを多数備えました。また共有のカフェスペースを導入し、社員にリラックス効果やリフレッシュ効果をもたらすよう設計。快適に働ける新たなコミュニケーションの場となることを狙いとしております。

また、本館1階のラボラトリーでは多様な分析器や実験機器を導入し、自主品質試験を実施可能としました。その他、仮眠室やランドリーなども備え、従業員

の多様な働き方や勤務形態に対応できるよう配慮しております（写真－4、5）。



写真－4 本館2階執務スペース



写真－5 本館2階カフェスペース

本館の建て替え後、翌2019年（令和元）には、リニューアル第2期工事として、敷地内に数々の新しい施設を設置いたしました。リニューアルされた浦安技術センターは工事事務所として活用するほか、技術者の実技訓練が可能なトレーニングエリアや、安全に関する体感教育ができる安全道場を備えるなど、いくつかの機能を持ち合わせる技術拠点として完成しました。施工機械の実機を格納、整備するスペースを確保し、機材メンテナンスの効率化が図れるよう環境が整備されているのは従来から引き継いでおります。

新たに付加した機能として、まず施工トレーニング施設を紹介いたします。地下に埋設した模擬管路を循環型水路とした。敷地内の路面下に人孔・管路モデルを建設することにより、施工機械の実機を流水下で使用できるシステムを設け、リアルな教育訓練や施工実験が可能となりました。流水状態での実験が可能となったことで、機材開発の効率化という点で大きなメ

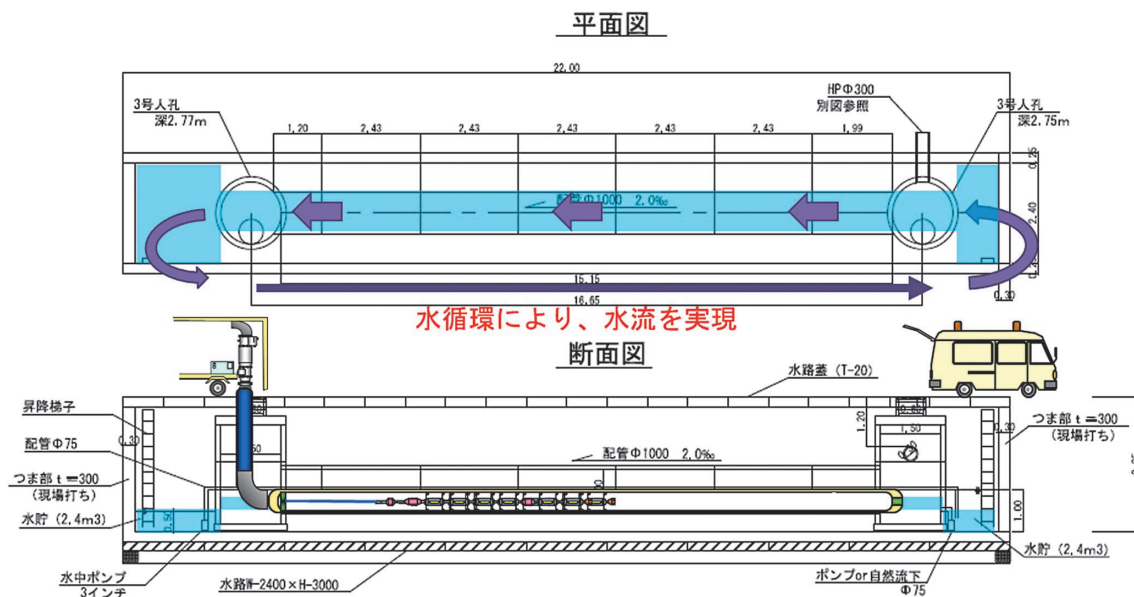


図-1 施工トレーニング施設 地下循環型水路



写真-6 地下埋設模擬管路

リットが生まれました（図-1、写真-6）。

当社ならではのユニークな安全道場は、安全体感装置を使用して現場の危険作業が安全に体感（体験）できる施設として新規に導入いたしました。装置類は通常、浦安技術センターで保管していますが、可搬型設備であり、全国への出張対応も可能となっております。施工上の安全教育について、施工標準マニュアルに順ずる専門的な実地訓練に補完する目的で、「ボーリングマシンへの巻き込まれ事故体感装置」「酸欠状態の目視確認ができる装置」「運転適性検査装置」「高所作業安全体感装置」など身近な危険を体感できる装置なども含めて9種類のメニューを用意しました。座学では体験できない疑似体験により、ゼロ災に向けた安全対策の先取りを行えること、装置単体は移動ができるため、指導員が装置と共に現地に赴く安全教育研修も



写真-7 安全道場パンフレット



写真-8 ミス日本「水の天使2021」嶺百花さんが安全道場を体験



写真－9 デモ実演車 アイスビグ管内洗浄工法



写真－10 マグマロック工法のデモ実演風景

可能なこと、全国の拠点で研修が可能となるため、全社員そして協力会社・協会会員と平準的な安全意識が共有できること、など多くのメリットがあり、開設以来高い稼働率を維持しております（写真－7、8）。

また、浦安技術センターの敷地内には当社が展開する各工法（光硬化管路更生工法、アイスビグ管内洗浄工法、スナップロック工法）のデモンストレーション車輛の駐車スペースがあり、敷地内や出張対応にてお客様に当社の管路メンテナンスグループのラインアップ商品を野外デモンストレーション形式にて紹介可能としております（写真－9、10）。

リニューアル後の浦安技術センターですが、開発・施工する管更生工法などの研修施設、施工トレーニングや安全教育のための設備として現在フル活用しております。この技術センターは都心にも近いことから、当社の社員や協力会社のみならず、国や自治体、大学などにも活用していただければと考えております。

■ 東亜グラウト工業(株)HP



■ 東亜グラウト工業 YouTube チャンネル



バナー広告掲載のご案内

『工法NAVI』へのバナー広告掲載をご希望の方は非開削技術編集室またはJSTT事務局までお問い合わせください。

広告のお申し込み・お問合せ

(一社)日本非開削技術協会事務局
Tel 03-5639-9970 Fax 03-5639-9975

非開削工法の普及を目指し設計をお手伝いする画期的サイト

■ 工法ナビ バナー広告掲載料金

掲載場所	掲載期間	掲載料金
TOP スペース	6 ヶ月 上半期（4月1日～9月30日） 下半期（10月1日～3月31日）	66,000 円
技術区分内スペース		19,800 円

※広告掲載料金は1掲載当たりの金額です。（消費税込）